

企 画 振 興 部

企画調整課・文化国際課・広報広聴課・情報政策課

企画振興部は、総合計画の策定や芭蕉を中心とした文化交流事業、地域振興ための交通対策事業など行っています。

また、広報やケーブルテレビなどの情報発信や情報セキュリティのための事業を担当しています。

企画振興部 企画調整課

事業名	新産業起業化推進調査研究経費	予算額	15,243千円
-----	----------------	-----	----------

事業概要

集客・交流を中心とした新産業の創出に関して研究し、具体的な事業化や起業化を推進することにより、地域産業の再生・創造を目指します。

事業名	総合計画進行管理経費	予算額	5,046千円
-----	------------	-----	---------

事業概要

伊賀市の総合計画に関して、成果指標（まちづくり指標）及びロジックモデルの運用により、協働型マネージメントサイクルの構築を目指します。また、総合計画の本編及びダイジェスト版を作成します。

事業名	自治基本条例推進経費	予算額	1,423千円
-----	------------	-----	---------

事業概要

まちづくりの基本方針やそれを実現するための自治のしくみを定めた住民自治基本条例について、市民、行政職員への周知・浸透に取り組みます。

事業名	産学官連携研究開発拠点調査経費	予算額	3,250千円
-----	-----------------	-----	---------

事業概要

地域産業活性化の拠点として、産学官連携による研究開発拠点にかかる調査研究に取り組みます。

事業名	鉄道網整備促進経費	予算額	4,540千円
-----	-----------	-----	---------

事業概要

近鉄伊賀線の活性化や鉄道網の利便性向上に向けた取り組みを実施します。

事業名	伊賀市交通計画策定事業	予算額	4,759千円
-----	-------------	-----	---------

事業概要

市内のバス・鉄道等に関する総合的な交通計画を策定し、新たな交通体系の構築を目指します。

事業名	関西本線電化促進経費	予算額	849千円
-----	------------	-----	-------

事業概要

JR関西本線の加茂亀山間の電化促進に向けた取り組みを行うとともに、整備促進団体等から事業者に対して積極的な要望活動を行います。

事業名	行政バス運行経費	予算額	27,388千円
-----	----------	-----	----------

事業概要

生活交通確保のため、上野コミュニティバス「しらさぎ」を運行します。

事業名	地方バス路線維持経費	予算額	58,600千円
-----	------------	-----	----------

事業概要

地方バス路線の運行に対して補助を行い、地域の公共交通手段を確保します。

企画振興部 文化国際課

事業名	文化振興一般経費	予算額	11,850千円
-----	----------	-----	----------

事業概要

市民の音楽文化の振興を図るため、市民管弦楽団の運営費に対し助成を行います。
 国の無形文化財に指定されている上野天神祭のだんじり・鬼行列の継承及び普及など郷土文化の振興・伝承に対する助成を行います。

事業名	美術展覧会運営経費	予算額	1,823千円
-----	-----------	-----	---------

事業概要

日常の保育や学習活動から培われてきた創造力を育むために発表の機会を設け、学びあう場とするとともに、市民にその取り組みを公開し、子どもの創造的な作品に触れてもらうために「子ども文化フェスティバル」を開催します。
 造形芸術の創作意欲を高め、文化の向上を図ることを目的とした「市展 いが」を開催します。

事業名	文化祭開催経費	予算額	2,550千円
-----	---------	-----	---------

事業概要

県内の文化団体が主体的に参画する実行委員会が、伝統的あるいは創造的な文化事業を企画し参画する「みえ県民文化祭」の振興・普及を図り、文化の発展に資することを目的とし、伊賀市で開催される場合の経費を負担します。
 芸術文化活動に取り組む諸団体・個人の発表の機会をつくり、文化意識を高め、活動のより一層の向上を図ることを目的とした伊賀市市民文化祭を開催します。

事業名	国際交流推進事業	予算額	13,422千円
-----	----------	-----	----------

事業概要

英国ストラッドフォード・アポンエイボンとの交流を行います。
 地域国際化の推進を図るため、外国青年招致事業（JETプログラム）による国際交流員（CIR）を配置し、英語通訳・指導及び国際交流事業の企画・実施をします。
 在住外国人との共生社会の実現推進のため、伊賀市外国人住民協議会を開催します。
 在住外国人に係る事業や国際交流推進に係る事業等を上野国際交流協会に委託し、多文化共生社会の実現を目指します。

事業名	都市間交流推進事業	予算額	1,317千円
-----	-----------	-----	---------

事業概要

芭蕉翁生誕350年記念を契機に、大津市と江州音頭を通して交流をしています。
 奥の細道ゆかりの市町村との友好交流をしています。
 伝統地名（旧国名）を名称とする市町村及び東大寺にゆかりのある市町村が、相互交流及び共同事業を通じて友好を深めます。
 鈴鹿山麓に広がる一体の市町村と、歴史・文化・観光の振興及び情報交換をします。

事業名	文化会館維持管理経費	予算額	7,000千円
事業概要 伊賀市文化会館施設の維持・補修を行います。			
事業名	文化ホール維持管理経費	予算額	4,390千円
事業概要 上野文化ホールの管理業務を委託します。(指定管理者)			
事業名	文化施設維持管理経費	予算額	197,633千円
事業概要 伊賀市文化会館・ふるさと会館いが・あやま文化センター(さんさんホール)・青山ホールの管理業務を委託します。(指定管理者)			
事業名	芭蕉祭執行等経費	予算額	12,262千円
事業概要 芭蕉翁の命日である10月12日を中心に芭蕉翁の業績を称え遺徳を偲ぶ式典をはじめ、さまざまな行事を開催します。			
事業名	芭蕉翁記念館・偲翁舎・蓑虫庵等管理運営経費	予算額	33,837千円
事業概要 芭蕉翁記念館・偲翁舎・蓑虫庵等の芭蕉翁関連施設の管理業務を委託します。(指定管理者) 芭蕉翁記念館の維持・補修を行います。 平成17年度に購入した「更科紀行」等芭蕉翁関連文書の解説を作成します。			
事業名	俳句啓発推進経費	予算額	1,058千円
事業概要 芭蕉翁生誕地として、その文化功績を称え、市民の間に俳句がより一層浸透するよう「講演会」「俳句の日記念講演会」等俳句関連事業に取り組めます。また、10月12日の芭蕉祭～11月12日のしぐれ忌までの間を芭蕉月間として、市民の方々に芭蕉翁や俳句に親しんでいただける行事を開催します。			

企画振興部 広聴広報課

事業名	広報作成等業務経費	予算額	19,150千円
-----	-----------	-----	----------

事業概要

市民の皆さんに伊賀市の行政情報を分かりやすくお届けするため、市の広報紙「広報いが市」の作成及び配布を行います。今年度からは、より早く情報をお伝えするため、月2回（1月は1回）の発行を行います。

事業名	行政情報番組等制作及び放送経費	予算額	58,999千円
-----	-----------------	-----	----------

事業概要

伊賀市行政だより「ウィークリー伊賀市」と文字放送は市民の一体感を高め、公益性を重視した充実した番組づくりに取り組んでいます。市民の関心の高い市議会中継を行い、番組の質を向上させるために行政情報番組検討委員会委員並びに市民の意見を番組づくりに反映し、市民スタッフがレポーターとして参加するなど市民の視点からの番組を心掛けています。また、地震・気象情報自動送信システムを取り入れ、危機管理に備えています。

市の情報をより早く市民の皆さんに提供できる文字放送ですが、今年度は、視覚障害者だけでなく高齢者の方にも配慮したシステムにするため、文字テロップと音声を複合させた文字放送音声出力対応システムへの移行を行います。

事業名	情報公開、個人情報保護推進経費	予算額	202千円
-----	-----------------	-----	-------

事業概要

「伊賀市情報公開条例」及び「伊賀市個人情報保護条例」を適正に運用することによって、行政の説明責任を果たし、市民と市との協働による市政の推進に資すると共に、高度情報化社会にふさわしい個人情報の適正な取扱いにより、公正で信頼される市政を推進します。

事業名	新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業	予算額	9,124千円
-----	--------------------	-----	---------

事業概要

「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」情報通信技術（ICT）を利活用するという、いわゆるユビキタス社会の構築に向け、ICT社会の推進に伴う情報格差（デジタルディバイド）の是正を図るため、旧青山町の新世代地域ケーブルテレビ整備事業の借入元金及び利子の償還金に対する補助を行います。

事業名	高齢者ICTサポート事業経費	予算額	5,000千円
-----	----------------	-----	---------

事業概要

ICT（情報通信技術）社会の推進に伴う情報格差（デジタルディバイド）の是正を行政施策とすることが求められていますが、本市においては65歳以上の人口が全体の約25%を占め、高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者のICTに対する知識と技術（スキル）を確保することがICT社会の構築には不可欠の要素となります。ついては、高齢者などデジタルディバイドの対象者にICTに対する知識と技能を習得するための研修講座を実施します。

事業名	ケーブルテレビ加入促進事業	予算額	11,506千円
事業概要			
ケーブルテレビによる行政情報・防災情報の効果的な提供と情報格差(デジタルディバイド)の是正を目的として、障害者世帯等に対し維持管理費の軽減を行います。			

企画振興部 情報政策課

事業名	電算機維持管理経費	予算額	46,123千円
事業概要			
本庁・支所業務で使用する住民記録・住民税・国民健康保険税・医療費助成システム等では、市民の重要な個人情報等を扱います。データの取り扱いや各システムとの連携を安全に行うため、ホストコンピュータ等のシステム機器の保守委託により、安定したシステム運用を図ります。			

事業名	ホームページ管理経費	予算額	13,729千円
事業概要			
伊賀市ホームページは、市の行政情報をより早く市民に提供するため、行政情報提供システムを使用して各業務担当課がページを作成しています。作成や公開にあたり、安定した運用を行うために、システム機器保守やホームページ改ざん防止のための監視サービス委託を行います。			
また、平成18年度は、現在公開している伊賀市ホームページを高齢者や障がい者など心身に制約がある人にとっても利用しやすいウェブ環境にするため、ウェブアクセシビリティJISX8341-3に基づき、音声・字の拡大・変色機能に対応したシステムへバージョンアップを行います。			

事業名	ネットワークシステム管理経費	予算額	63,436千円
事業概要			
本庁と支所・出先機関・学校・保育所の使用端末は光ファイバーや同軸ケーブルで繋がっており、業務上の情報やデータの送受信を行っています。			
業務で使用する基幹系・情報系システムネットワークの常時的な作動を確保するため、ウィルスバスターやファイヤーウォールによるウィルス侵入防止、アップデート等端末管理のための遠隔操作機能、情報の宛名管理、規定外のソフトインストールの禁止、通信線保守などの管理委託を行います。			

事業名	グループウェアシステム管理経費	予算額	66,160千円
事業概要			
ネットワーク機能(庁内LAN)を利用して、E-mail、スケジュール管理、施設予約管理、行政文書管理保管などを行うため、グループウェアシステムを利用しています。			
グループウェアシステムは、本庁・各支所において、会議室や公用車使用についての一括管理、また職員同士の事務連絡等データの送受信など業務を迅速化するために必要不可欠です。システム運用を常時安定したものにするため、また各職員が使用する端末の不具合に即時対応するために保守管理委託を行います。			

事業名	総合文書管理システム管理経費	予算額	30,952千円
-----	----------------	-----	----------

事業概要

事務の効率化と迅速化を図るため、文書作成・保管事務等を行う総合文書管理システム及び予算編成業務・契約業務・備品管理業務を行う財務会計システムを利用しています。常時的確な作動を確保するため、サーバ等のシステム機器保守委託を行います。

併せて、合併により広大になった市の住民サービスをより迅速に行うため、文書及び財務事務等をネットワーク化する「電子決裁システム」導入に向けて、先進地視察と研究・調査を行います。

事業名	総合行政ネットワークシステム管理経費	予算額	4,124千円
-----	--------------------	-----	---------

事業概要

行政業務において国・県との文書のやりとりは多大な時間を要するため、中央省庁・都道府県・各市町村を回線で結び、情報とデータの送受信を可能にし、業務の迅速化・効率化を図ります。

そのため、総合行政ネットワークシステム（L G W A N）の運用管理サーバの保守管理委託により、安定したシステム運用を行います。

事業名	セキュリティ対策管理経費	予算額	9,221千円
-----	--------------	-----	---------

事業概要

個人情報漏えい事件が多発している現在、市として情報セキュリティの管理・運用を徹底することは不可欠となっています。職員個人の情報セキュリティに対する意識向上を一番の目的としますが、それでも起こりえる情報漏えい事故を未然に防ぐため、セキュリティシステムを導入し、行政が保有する重要な情報漏えい防止の完全化を図ります。また、各職員使用の全端末に対して情報漏えい防止ソフトを導入し、情報の暗号化や外部端末への情報出力を徹底管理します。

